

# Official 髭男dism

## 最大9人編成で魅せた Official 髭男dismの集大成

2018年11月からスタートした【Official 髭男dism one-man tour 18/19】全国24カ所のツアーファイナルが彼らの地元、島根県民会館で行われた。島根県で結成された、山陰発のピアノPOPバンドOfficial 髭男dism、通称ヒゲダンのメンバーは、藤原聡 (Vo,Pf)、小笹大輔 (Gt)、植崎誠 (Ba,Sax)、松浦匡希 (Dr) の4人。今回のホ



ール&ライブハウスツアーでは、ファイナル公演を含む4公演が山陰地方で開催された。なかでも11月22日に行ったcanova(松江のライブハウス)は、初めてメンバーが音を合わせた会場で、彼らが実家と呼んでいる場所である。

山陰愛に溢れるツアー、いよいよファイナル公演が始まる。

約1500人の老若男女の観客が待つホール、暗転と同時にステージ上の幕に4人のシルエットが映し出されると大きな歓声が上がリ、幕が降ろされるとメンバー4人のほか、サポートメンバー5人(キーボード・パーカッション・トロンボーン・トランペット・サクソ)の合わせて9人がステージ上に現れた。1曲目は『ESCAPEDE』。ミラーボールが回り9人が奏でる音に会場が沸き上がる。藤原が両手を広げ、メンバーは地元でのライブの嬉しさを噛みしめるように笑顔を見せた。「松江ー!!」と叫び、すぐさま2曲目の『Tell Me Baby』へ。メンバーの息の合ったダンスでステージに一体感が生まれ、キラーチューン『バッドフォーミー』へと続き、ヒゲダンの特徴であるブ

ラックミュージック、ロック、ポップスを早くも披露。

客席からは「おかえりー」と声がかかり、それに答えるように藤原から「松江ただいまー、松江に帰ってきたヒゲダンです。ついにツアーファイナルです。ずっとこの島根県民会館(の大ホール)で演奏したかった。この場所ですることが誇りです。できることが当たり前じゃありません! 500万倍に返していきます。踊る準備は出ていますかー!？」と『SWEET TWEET』、『コーヒーとシロップ』と『POPの王道とも言える曲、藤原の伸びやかな甘い声が存分に発揮される。『115万キロのフィルム』からバラードゾーンに突入、「たかがアイラブユー」までエモーショナルなパフォーマンスに心地よく包み込まれた。小笹のソロパートでは繊細で甘いギターが鳴り響き、『ブラザーズ』ではベースの植崎がバリトンサクソを持って登場し、会場がダンスホールに!

後半戦はじめていきます。ロックナンバー『FIRE GROUND』では赤い照明が客席を照らし、ステージからも炎が上がり、会場のボルテージが一気に上昇! たて続けに『Clap Clap』『犬かキョットかて死ぬまで喧嘩しよう!』を鳴らせば、クラブとコール&レスポンスでロックな雰囲気から一転、アットホームな空間へ。そして「ラストパート行けますかー」の一言に続いて披露された、昨年ドラマ主題歌で話題となった『ノーダウト』は、この日一番の盛り上がりを見せた。藤原の声も興奮を抑えきれない。本編ラストは『Stand By You』。「誇りと尊敬を込めて」と歌いはじめると、名残を惜しむようなシンガロングが会場中に響いた。

アンコールでは、地元ならではのMCのあと、「みんなの憂鬱をぶっ飛ばします!」と『日曜日のラブレター』、そして「最後にもう1曲これからも島根代表として頑張っていくので宜しく! ステップを踏んで行こう」と『異端なスター』を披露。ライブではお馴染みのこの曲、本来あるべき自分自身を取り戻し、他人と比べず自分らしく生きることを歌った名曲で幕を閉じた。

SET LIST	
01. ESCAPEDE	11. ブラザーズ
02. Tell Me Baby	12. FIRE GROUND
03. バッドフォーミー	13. Clap Clap
04. SWEET TWEET	14. 犬かキョットかて死ぬまで喧嘩しよう!
05. コーヒーとシロップ	15. ノーダウト
06. 115万キロのフィルム	16. Stand By You
07. 相思相愛	
08. Trailer	<b>ENCORE</b>
09. LADY	01. 日曜日のラブレター
10. たかがアイラブユー	02. 異端なスター

アンコールでは、地元ならではのMCのあと、「みんなの憂鬱をぶっ飛ばします!」と『日曜日のラブレター』、そして「最後にもう1曲これからも島根代表として頑張っていくので宜しく! ステップを踏んで行こう」と『異端なスター』を披露。ライブではお馴染みのこの曲、本来あるべき自分自身を取り戻し、他人と比べず自分らしく生きることを歌った名曲で幕を閉じた。

最後の最後まで全力で駆け抜け抜けた2時間半は、総勢9人の演奏がとにかく圧巻だった。音の響きを感じられるホールとの相性も抜群。「地元に戻ってきたよ。成長しているだろう? 次はもっと遅くなって帰ってくるから」という想いが伝わってくる最高のライブになった。念願の日本武道館公演(7月8日)も決まり、これからどんなヒゲダンを見せてくれるのか楽しみだ。髭の似合う歳になってもワクワクしながら音楽を楽しむ、Official 髭男dismの2019年に心を躍らせながら共に楽しんでいきたい。夢の続きはヒゲダンとともに。

最後の最後まで全力で駆け抜け抜けた2時間半は、総勢9人の演奏がとにかく圧巻だった。音の響きを感じられるホールとの相性も抜群。「地元に戻ってきたよ。成長しているだろう? 次はもっと遅くなって帰ってくるから」という想いが伝わってくる最高のライブになった。念願の日本武道館公演(7月8日)も決まり、これからどんなヒゲダンを見せてくれるのか楽しみだ。髭の似合う歳になってもワクワクしながら音楽を楽しむ、Official 髭男dismの2019年に心を躍らせながら共に楽しんでいきたい。夢の続きはヒゲダンとともに。

